

# とよた

## 市議会だより

TOYOTA CITY COUNCIL No.172



### 表紙の写真と関係議案 (議案第1号関係)

新とよパーク(新豊田駅東口駅前広場)は、「自由と責任」の理念の下、利用者のニーズに合わせた整備を行い、ストリートスポーツや火の使用など自由度の高い活用を可能とした広場です。今回の条例制定により、広場の適正な運営管理を進めます。

## 3月市議会 定例会号

令和5年5月1日

### 目次

■ トップインフォメーション 特別委員会の調査研究結果報告	2
■ 議案説明 条例の一部改正など	4
■ 討論	5
■ 常任委員会 付託案件を審査	6
■ 議案審議結果 条例の一部改正など	8
■ 代表質問 各会派の代表が市長に質問	10
■ 一般質問 市政を問う! 14人の議員が質問	12
■ トピックス 市民シンポジウムの開催報告	16

## 特別委員会の調査研究結果



報告書を市長へ提出

市議会では、議案や予算決算を審査している常任委員会とは別に、市の重要な課題の検証や議会の活性化に向けた取組を専門的に調査・研究する特別委員会を設置しています。

令和4年度は、多くの来訪者が見込める大規模イベントを契機とした魅力あるまちの実現やデジタル技術を活用し議会活動の高度化や見える化を図り、市民に分かりやすく開かれた議会の実現を目指し、二つの特別委員会が一年間にわたり調査研究を行ってきました。

今回は、各特別委員会の調査研究結果について報告します。

### 大規模イベントを生かしたまちづくり特別委員会

#### 目的と調査研究事項

多くの来訪者が見込まれる世界ラリー選手権や令和8年に開催予定のアジア競技大会の開催地としてのおもてなしやイベントに対する市民の機運醸成を図り、もってイベントを契機とした魅力あるまちづくりを目指す。

- 1 過去の大規模イベントの検証
- 2 情報発信等による機運醸成の方策
- 3 官民連携によるイベントの強化と庁内体制のあり方

#### 主な活動内容

- 関係団体等への取組等のヒアリング(意見交換)
- 行政視察(期間:令和4年8月25日、10月18日～20日)
  - ・岐阜県恵那市:ラリーに関する恵那市の取組状況 ほか
  - ・北海道帯広市:ラリーを生かしたまちづくり
  - ・一般社団法人札幌観光協会:大規模イベントの開催概要と課題
  - ・札幌商工会議所:2030年オリンピック・パラリンピック招致に向けた取組



フォーラムエイト・ラリージャパン2022

#### 調査結果(提言内容) ※抜粋

##### 1 官民連携によるイベントの強化と庁内体制のあり方

###### ①大規模イベントの戦略的誘致

- ・イベントを戦略的に誘致することができる庁内組織体制の構築
- ・スポーツを本市の成長産業と捉え、「見るスポーツ」のみではなく、「するスポーツ」にもさらに焦点を当て、合宿や大会などの市内宿泊を促進
- ・大規模イベントの開催支援制度(新規補助金、会場予約制度、一元化された相談窓口)の創設

###### ②大規模イベントによる市内経済の活性化

- ・大規模イベントの誘致に際し、豊田市を選定してもらえるように、主催者からのニーズ(宿泊、飲食手配、送迎サービス等)に対し、官民連携の取組により市内宿泊施設を利用してもらう仕組みの構築
- ・イベントへの来訪者のニーズに応えられる土産品の販売支援
- ・イベントを契機に来訪者が市内山村地域の魅力を体感し、観光で再訪してもらうために、SNS等を活用した情報発信

###### ③“ラリーのまち豊田市”の推進

- ・公共交通からのアクセスが良い中心市街地での観戦エリアの新設
- ・大会公式グッズの制作や販売、WRC専門店の設置、eスポーツを活用した若者世代の参画等を促進することで、市民の機運を醸成し、ラリー大会の継続的開催を図る

##### 2 情報発信等による機運醸成の方策

###### ①最新技術を駆使した情報発信

- ・中心市街地にデジタルサイネージや大型ビジョン等を設置し、イベントの情報発信

##### 3 大規模イベントを見据えたインフラ整備

###### ①大規模イベントの誘致に必要な施設整備の促進

- ・老朽化した公共施設や設備等の改修のほか洋式トイレやLED照明の導入
- ・大型バスも停車可能な駐車場の確保
- ・国際大会の国際基準(宿泊施設やサブグラウンドの必要性等)を調査し、大会誘致に適した施設整備等の促進策への取組

###### ②観光案内所設置

- ・市内観光名所や名産品等をPRする観光案内所を中心市街地に設置



札幌観光協会の職員から説明を受ける委員

## 議会デジタル化推進特別委員会

### 目的と調査研究事項

デジタル技術を活用し、議会活動の高度化による議会活動の強化及び議会の見える化を図り、これまで以上に分かりやすい開かれた議会の実現を目指し調査・研究を行う。

- 1 (仮) 議会DX取組方針
- 2 本会議又は委員会等の中継のインターネットによるライブ配信
- 3 議場及び議会中継への文字表示(字幕表示)



外部講師による勉強会を実施

### 主な活動内容

#### ● 「議会のデジタル化」に関する勉強会

講師: 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 湯浅壘道専任教授

#### ● 行政視察(期間: 令和4年10月18日～20日)

- ・神奈川県藤沢市: ICTを活用した議会活動
- ・日本電気株式会社: 企業の推進するDX
- ・総務省: 自治体DXの推進状況
- ・神奈川県横浜市: 議会のデジタル化と議事堂の整備



横浜市会議事堂での視察活動

### 調査結果(提言内容) ※抜粋

#### 1 (仮) 議会DX取組方針

##### (1) 豊田市議会の目指すべき姿

デジタル化の推進により、いつでもどこでもつながる議会

##### (2) 議員及び議会事務局職員の心構え

デジタル技術の進展に対応するため、自らがデジタル化及びDXに対して知識を深める意識を持ち続け、自己研鑽に取り組む。

##### (3) 取組方針: 議会運営のデジタル化、議会活動のデジタル化、議会関連事務・手続におけるデジタル化

##### (4) 取組期間: 令和5年度から令和8年度までの4か年

##### (5) 推進体制

「(仮称) 議会デジタル化推進チーム」を新たに設置し、本方針に基づく各種施策の具体的な内容や詳細の検討を行い、デジタル化を確実かつ強力に進めていく。

#### 2 本会議又は委員会等の中継のインターネットによるライブ配信

・開かれた議会という観点からインターネットライブ配信の導入は必要と考えられるが配信対象となる会議、実施方法の費用対効果、導入時期等を検証した上で、導入を決定することが望ましい。

#### 3 議場及び議会中継への文字表示(字幕表示)

・導入については、議事堂の改修時期を考慮しながら、適正な機器を調査の上、議場モニターや中継映像への導入など総合的に検討を進めるべきである。ただし、議事堂の改修までに導入が可能なのは、試験的に導入することも含めて、実施時期を検討する。

### 調査研究結果の報告書は閲覧することができます

「大規模イベントを生かしたまちづくり特別委員会」「議会デジタル化推進特別委員会」を始め、各特別委員会の調査研究結果報告書は、市役所市政情報コーナー(南庁舎1階)や市議会ホームページで閲覧することができます。

(市議会ホームページTOP → 市議会の概要 → 特別委員会調査研究結果報告書)

豊田市議会ホームページ  
<http://toyota-shigikai.jp/>



豊田市議会

検索

## 条例の制定、令和5年度一般会計予算など61議案を議決

### 高橋節郎館活動基金を設置

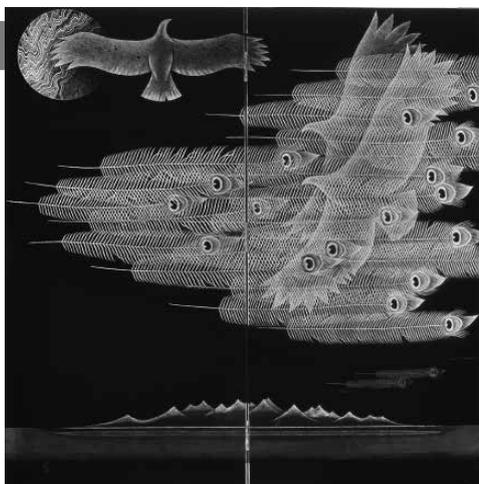
#### 【議案第5号】 基金条例の一部改正条例

美術館に併設された高橋節郎館での展示活動を支援してきた公益財団法人が令和4年度に解散する中、令和6年度には美術館の隣にある(仮)新豊田市博物館が開館を予定している。今回、基金を設置することで、美術館と博物館の結節点にある高橋節郎館を活性化させ、事業の充実化とあわせ施設間連携や利用者の回遊性の向上を目指します。



豊田市美術館

高橋節郎  
星座創記  
1975年



### 市内公共施設の子ども・高齢者の利用料金が一部無料化

#### 【議案第8号】 子ども、高齢者等の施設利用に係る料金の無料化のための関係条例の整備に関する条例

子どもの人間性の育成と市への愛着の醸成を図るとともに、高齢者の外出促進による健康づくりと生き生きとした暮らしの実現を図るため、学び又は体験に資する施設における子ども、高齢者等の利用に係るプラネタリウムやスポーツ施設等の使用料や利用料金の一部を無料にします。



昨年リニューアルオープンしたとよた科学体験館のプラネタリウム

### みんなのミライを応援!過去最高額となる1,883億円の予算を可決

#### 【議案第41号】 令和5年度一般会計予算

令和5年度の当初予算は、社会環境の変化やコロナ禍の状況を踏まえた上で、すべての人が将来に希望を抱き、挑戦できるような環境づくりや、まちの活性化のための未来につながる投資を積極的に推進することを基本的な考えとし、一般会計の総額は1,883億円となりました。

具体的には、ポストコロナ社会を見据えた第8次総合計画後期実践計画の推進を柱とした上で、特にこども・若者支援、生涯活躍の応援、安全・安心の確保、カーボンニュートラル、デジタル化、ラリーを生かしたまちづくりに重点的に予算を配分しています。

市民、地域、企業などみんなのミライを応援し、希望と活気にあふれるまちづくりにつなげるための、積極的な予算編成としています。

※令和5年度当初予算の概要については、広報とよた4月号の「予算のあらまし」を御覧ください。

### 学校給食におけるアレルギー対応食の提供拡大

#### 【議案第58・59号】 特定事業契約の変更 (東部給食センター改築整備運営事業・ 北部給食センター整備運営事業)

学校給食におけるアレルギー対応食の充実のため、これまで配送できなかった中部給食センター管轄の市内小・中学校(小清水小学校を始め9校)に対し、東部・北部給食センターの調理余力を活用し、卵・乳のアレルギー対応食を配送します。



給食センターでの調理風景

## 討論

3月市議会定例会の最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等の議員が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。 ※発言順に記載

### 根本美春 諸派

#### 豊田スタジアムを世界ラリー選手権の競技コースとする点の検討は開催の経緯に反しており、反対

議案第41号：反対。歳入のうち、法人市民税は法人税割の一部国税化の影響を抑えるため、制限税率の上限まで超過して課税すべき。歳出については、世界ラリー選手権の開催経緯の中で、山間地域の自然環境の維持や持続的発展を目的としていたが、検討中の都心部の競技コースのため、豊田スタジアムのピッチの天然芝を剥がし、アスファルト舗装等の改修に向けた予算については、理解できず、住民の暮らしへの視点、産業振興、暮らしの維持への施策が必要である。

そのほか、物価高騰や重い税負担で限界に達する状況である市民への暮らしへの対策が必要であり、反対。

### 窪谷文克 自民クラブ

#### 令和5年度一般会計予算は、持続可能なまちづくりに結びつくものと評価して、賛成

議案第41号：賛成。令和5年度当初予算の総額は、ポストコロナ社会を見据え、過去最大規模である。歳入では、市税が減少する中、国県補助金等の積極的な確保や基金、市債を有効活用し、財源を確保している。一方で、歳出は生涯活躍の応援、安全安心の確保、カーボンニュートラル、デジタル化の推進のほか、世界ラリー選手権の開催が中心市街地のにぎわい創出や山村地域の振興の契機となり、まちの活性化につながることを期待する。また、自民クラブ議員団が継続して要望している普通建設事業費は補正予算と合わせ393億円となり、将来に向けた持続可能なまちづくりに結びつくものと評価し、賛成。

### 日當浩介 市民フォーラム

#### 子どもや高齢者のために公共施設を無料化にすることは市全体の社会課題解決につながると評価し、賛成

議案第8号・第10号・第23号・第25号：賛成。コロナ禍であらゆる行動が制限され、子どもが経験できる学びの場や高齢者が外出機会を逃してきたことを社会課題と捉え、学び又は体験に資する公共施設の使用料金の無料化を行うことを確認した。公共施設の費用負担は、受益者負担の観点と公益性の観点があるが、子どもたちの健やかな成長や高齢者の健康で生き生きとした暮らしの実現は、市全体の社会課題解決につながるのと政治的判断から無料化としたことを評価する。今後は、様々な方法での周知と施設の魅力向上を図り、利用拡大につなげることに期待して、賛成。

### 大石智里 公明党

#### 豊田市福祉センターを利用する市民の利便性が向上することから、賛成

議案第13号：賛成。これまで福祉センターの利用には申し込み後、利用料金の支払いのためだけに福祉センターまで赴く必要があったが、今回の改正により、利用時の支払いが可能となった。またその支払いには、キャッシュレス決済も利用可能となり、市民の利便性が向上することを評価して、賛成。



豊田市福祉センター

### 岡田耕一 諸派

#### 水道水源保全基金の市民理解に向けたPR等の活動を評価し、賛成

議案第46号：賛成。水道水源保全基金の市民への理解活動として、PR動画や各家庭への検針票に水道料金の一部を水源確保のために使用している旨を記載するほか、市ホームページ、市民参加の事業で紹介するなど、認知度向上を図っていくことを評価する。今後、矢作ダム左岸の水道水源特別地域の間伐が令和8年度に一巡し、水道水源林モニタリング事業も令和6年度に終了することから、本基金、本会計の廃止も視野に入れた検討を進めるべきと提案し、賛成。

### 中島竜二 諸派

#### 食物アレルギーのある子どもたちのために、安心して給食を提供できることを期待し、賛成

議案第58号・第59号：賛成。現在、東部給食センター及び北部給食センターの2か所で、アレルギー対応給食を提供しており、それらの管轄は55校であるが、今後は契約内容の変更により、調理余力を活用することで、中部給食センター管轄の9校までに拡大するという点では評価できる。

食物アレルギーのある子どもたちのために、さらなるアレルギー対応給食の拡充、安全・安心な給食を提供できることを期待し、賛成。

# 常任委員会

**常任委員会とは** 地方公共団体の議会が地方公共団体の事務に関する調査、議案及び請願等の審査を行わせるために、条例で定め常設する委員会です。本市では、次の6委員会が常任委員会となります。

## 産業建設 委員会

3月6日、付託された9議案を審査し、議案の全てを全会一致にて承認しました。

【第1号】 新豊田駅東口駅前広場条例

**質問** 駅前広場新とよパークの特色をどのように捉えているか。

**答弁** 新とよパークの特色としては、広場利用者とともに、空間活用や利用ルール等を考え、使いながら必要な設備等を設計に反映していく、ハーフメイドのプロセスにより整備したことで、スケートボードや火器の使用など、利用目的やニーズに沿った活動を可能としている点である。

活用に関しては、自由と責任の理念の下、当該広場でできることを明示したできます看板を設置し、多様で自由度の高い利用を可能とするとともに、利用者団体である、新とよパーク・パートナーズと共働で、活用促進の企画や周知等を行っている点に特色がある。

【第27号】 都市計画事業豊田寺部土地区画整理事業施行規程廃止条例

**質問** 寺部土地区画整理事業の評価はどのようであったか。

**答弁** 事業評価として、地区内外の都市計画道路豊田則定線の拡幅整備による慢性的な渋滞緩和のほか、狭小道路の解消、宅地増加による都心近郊の人口流出抑制等の効果が挙げられる。なかでも、地区内人口に関しては、令和3年度末時点で、地区内の宅地は全て造成が完了しており、事業立上げ時の推計値470人に対し、令和4年12月時点の統計データから推計すると1,050人で、580人の増加が見られ、一定の定住効果が図られたものと評価している。

## 環境福祉 委員会

3月8日、付託された3議案を審査し、議案の全てを全会一致にて承認しました。請願1件は不採択としました。

【第11号】 古瀬間聖苑条例の一部改正条例

**質問** 火葬施設の使用料について、親族まで無料とした理由及び確認方法はどのようなか。

**答弁** 豊田市、もしくはみよし市以外の高齢者施設等に入所し、亡くなった方の火葬については、これまで、両市に住民登録がないため市外料金であったが、遺族が市内にいる場合は、古瀬間聖苑で火葬されることが多く、近隣市の状況も踏まえ、市民同様に無料とした。親族であることの確認については、古瀬間聖苑の利用許可申請書の申請者欄に、死亡した者との続柄を記載する欄を設け、確認する。

【第13号】 福祉センター条例の一部改正条例

**質問** 変更点と期待する効果はどのようなか。

**答弁** これまでは、会議室等を予約した時点で、使用料納付のために福祉センターを訪れ、現金で支払う必要があったが、今後は、利用日当日、また、ホールについては、事前打合せの日に支払えばよくなるため、使用料納付のためだけに福祉センターへ来る必要がなくなる。なお、これに併せて、使用料の支払い方法にキャッシュレス決済を導入するため、現金以外での支払いも可能となり、利用者の利便性の向上が期待できる。

## 教育社会 委員会

3月9日、付託された11議案を審査し、議案の全てを全会一致にて承認しました。請願1件は不採択としました。

【第14号】 幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例の一部改正条例から

【第19号】 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正条例まで

**質問** 送迎用の自動車運行において、具体的にどのように子どもの安全を確保していくのか。

**答弁** 今回の改正による子どもの安全確保の具体的な内容としては、乗降時に点呼を実施するなどの所在確認と、日常的に運行する送迎バスへの安全装置の設置である。

【第58号】 特定事業契約の変更(東部給食センター改築整備運営事業)

【第59号】 特定事業契約の変更(北部給食センター整備運営事業)

**質問** 東部・北部給食センターの体制強化により、他の給食センター管轄校にもアレルギー対応食を配達できることになったが、アレルギー対応のできていない学校への今後の対応はどのようなか。

**答弁** 今回の体制強化により、管轄校以外への学校にも給食を運ぶことが可能になったが、今回の対応方法は、東部・北部給食センターの調理食数の余力を活用したものであり、中部給食センターの管轄校以外に拡大できるほどの調理余力はない。アレルギー対応食の未対応校については、今後予定している平和・足助給食センターの改築に合わせて、提供開始を検討していく。



北部給食センター

## 地域生活

委員会

3月10日、付託された2議案を審査し、議案の全てを全会一致にて承認しました。

【第7号】 財産区管理会条例の一部改正条例

**質問** 本条例を改正する経緯と期待する効果はどのようなか。

**答弁** 条例改正の直接のきっかけとなったのは、先に報道発表したとおり、世帯主であることという要件を満たしていない者が、財産区管理会の委員に選任されていた事実が判明したことだが、元々、委員の成り手が少なくなってきたことは課題になっていた。今回の条例改正により世帯主要件を撤廃することで、現在よりも委員の成り手を確保しやすくなると考えている。

【第26号】 水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正条例

**質問** 下水道事業計画を変更する主な理由はどのようなか。

**答弁** 公共下水道事業計画を変更する主な理由は、広域化・共同化の取組を進めるため、令和3年度に見直しを実施した豊田市汚水適正処理構想を受け、鞍ヶ池処理区を始め4地区の汚水処理場である浄化センターを廃止し、流域下水道に接続するためである。



鞍ヶ池浄化センター

## 企画総務

委員会

3月13日、付託された10議案を審査し、議案の全てを全会一致にて承認しました。他に陳情1件を報告しました。

【第3号】 公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正条例

**質問** 今回の条例改正の狙いについて、特にどのような点で課題があったのか。

**答弁** 一般社団法人おいでん・さんさんは、設立以来、市職員はならず、直接雇用した職員のほか、行政のノウハウ活用や、行政との連携のため、市の退職者を法人が選考して採用している。同法人は、市のおいでん・さんセンター業務を受託しており、都市と山村のコーディネート、課題解決等、民間ならではの自由な取組を行っているが、令和4年1月に、豊田市山村地域の持続的発展及び都市と山村の共生に関する条例が施行され、都市と山村の交流・共生をさらに深化させるため、行政と法人がより密接に協力し合って運営していく必要があると判断した。そこで、民間ならではの取組も生かしながら、市と法人の目的や価値観の共有、利害とやるべきことの調整をよりスムーズに行い、行政課題、地域課題の解決につなげるため、職員の派遣に踏み切ることとした。

【第8号】 子ども、高齢者等の施設利用に係る料金の無料化のための関係条例の整備に関する条例

**質問** 博物館など、今後市が整備を予定している施設等について対象施設として指定していく考え方はどのようなか。

**答弁** 今後整備される施設の考え方については、今回の対象施設と同様に、施設の利用を通じて、子どもの豊かな人間性の育成や、市への愛着の醸成、高齢者の外出促進による健康づくりと生き生きとした暮らしの実現を図るために、有用な施設である場合は、対象としていく考えで、博物館については、対象施設としていく予定である。

## 予算決算

委員会

3月1日から15日まで、付託された令和4年度補正予算13議案、令和5年度当初予算13議案を審査し、議案の全てを承認しました。

【第41号】 令和5年度一般会計予算

歳出 豊田市駅西口施設整備費

**質問** 過去2回の交通実証実験で、バス利用者から東口バス乗降場について希望の声が多かったと聞いている。バス乗降場の整備に向けて、実証実験の結果やバス利用者の意見をどのように反映していくのか。

**答弁** 実証実験の結果、挙動調査等から、鉄道やバスへの乗り換え、職場への移動のほか、乗降場近隣の商業施設への入館者数の増加がみられた。また、バスルートの変更等に伴う周辺交通への大きな影響も見られなかったことから、バス乗降場の西口集約を進めていく。

東口のバス乗降場については、利用者アンケートの結果等を踏まえ、設置に関する検討や関係機関等との協議を進めていく。

歳出 施設整備費

**質問** 体育館・武道場の暑さ対策を検討するための基礎調査委託の内容はどのようなか。

**答弁** 基礎調査委託では、暑さ対策にかかる設備の選定から始まり、例えば空調設備となれば、ガスや電気などの熱源比較や、買取り・リースなどの整備方式、今後の維持管理費などについて検討していく。

また、カーボンニュートラルの視点で、建物の遮熱化や民間活力を活用した太陽光発電の導入など、効率的・効果的な省エネ対策と再エネ設備の導入について検討するほか、暑さ対策の導入効果として、避難所や学校開放などでの利活用についても検討していく。

# 議案審議結果

※議案名など一部省略して記載しています

3月市議会定例会に提出された案件		採決結果	会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く																	
			自民クラブ 27名		市民フォーラム 10名		公明党 4名		諸派 3名											
			賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対										
<b>◆議案</b>																				
第1号	新豊田駅東口駅前広場条例	原案可決	27	0	10	0	4	0	3	0										
2	附属機関条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
3	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
4	職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
5	基金条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
6	手数料条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
7	財産区管理会条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
8	子ども、高齢者等の施設利用に係る料金の無料化のための関係条例の整備に関する条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
9	美術館条例及び旅館業の施設の衛生措置及び構造設備の基準等に関する条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
10	文化財施設条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
11	古瀬間聖苑条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
12	一般廃棄物処理施設条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
13	福祉センター条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
14	幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
15	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
16	幼保連携型認定こども園の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
17	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
18	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
19	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
20	地域広場条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
21	国民健康保険条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
22	国民健康保険税条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	2	1										
23	高岡農村環境改善センター条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
24	農林漁家高齢者センター条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
25	都市公園使用料及び利用料金条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
26	水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
27	都市計画事業豊田寺部土地区画整理事業施行規程廃止条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
28	令和4年度一般会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	2	1										
29	// 国民健康保険特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	2	1										
30	// 都市計画事業土地区画整理特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
31	// 分譲住宅建設事業特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
32	// 卸売市場特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
33	// 水道水源保全事業特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
34	// 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
35	// 介護保険事業特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	2	1										
36	// 財産区特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0										
37	// 後期高齢者医療特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	2	1										

3月市議会定例会に提出された案件		採決結果	会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く							
			自民クラブ 27名		市民フォーラム 10名		公明党 4名		諸派 3名	
			賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
第38号	令和4年度産業用地造成事業特別会計補正予算	原案可決	27	0	10	0	4	0	3	0
39	// 水道事業会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
40	// 下水道事業会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
41	令和5年度一般会計予算	//	27	0	10	0	4	0	2	1
42	// 国民健康保険特別会計予算	//	27	0	10	0	4	0	2	1
43	// 都市計画事業土地区画整理特別会計予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
44	// 分譲住宅建設事業特別会計予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
45	// 卸売市場特別会計予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
46	// 水道水源保全事業特別会計予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
47	// 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
48	// 介護保険事業特別会計予算	//	27	0	10	0	4	0	2	1
49	// 財産区特別会計予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
50	// 後期高齢者医療特別会計予算	//	27	0	10	0	4	0	2	1
51	// 産業用地造成事業特別会計予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
52	// 水道事業会計予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
53	// 下水道事業会計予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
54	工事請負契約の締結(都市計画道路高橋細谷線道路改良工事(長興寺第1工区その4))	//	27	0	10	0	4	0	3	0
55	工事請負契約の変更((仮称)博物館建築工事)	//	27	0	10	0	4	0	2	1
56	財産の取得(都市計画道路豊田刈谷線用地(西岡町ほか地内))	//	27	0	10	0	4	0	3	0
57	包括外部監査契約の締結	//	27	0	10	0	4	0	3	0
58	特定事業契約の変更(東部給食センター改築整備運営事業)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
59	// (北部給食センター整備運営事業)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
60	市道の認定	//	27	0	10	0	4	0	3	0
61	職員定数条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
<b>◆同意</b>										
第1号	副市長の選任(新任:鈴木 学 氏)	同意	27	0	10	0	4	0	1	2
2	監査委員の選任(新任:松永 浩行 氏)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
<b>◆報告</b>										
第1号	経営状況の報告(株式会社とよた山里ホールディングス)									
2	専決処分等の報告(損害賠償額の決定2件、訴えの提起1件、工事請負契約の変更9件)									
<b>◆請願</b>										
第1号	学校給食費の無料化を求める請願	不採択	0	27	0	10	0	4	3	0
2	加齢性難聴者の補聴器購入に対する助成制度の創設を求める請願書	//	0	27	0	10	0	4	3	0
<b>◆陳情</b>										
第1号	庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情									
<b>◆議員提出議案</b>										
第1号	市議会委員会条例の一部改正条例	原案可決	27	0	10	0	4	0	3	0

# 代表質問

## 自民クラブ・市民フォーラム・公明党の各会派が太田市長に市政を問う!

### 自民クラブ 羽根田 利明



- ひとづくり
- くらしづくり
- まちづくり
- 令和5年度当初予算

#### 質問 子どもの学びと育ち

子どもたちが健やかに成長するための環境づくりや高齢者が活躍できる環境づくりにどう取り組むのかを問う。

#### 答弁 市長

子どもについては、令和5年1月から、2年かけてユニセフ日本型こどもにやさしいまちづくり事業(CFCI)実践自治体の承認を目指すとともに、今一度子どもの声に耳を傾け、子どもにとって最もよいことは何かという視点に立ち、健やかな成長につながる各種取組を推進していく。高齢者については、健康増進事業を拡充するなど、活動を支える環境を創出していく。また、こどもの学びや体験、高齢者の社会参加の機会創出のため、公共施設の無料化を実施する。

#### 質問 子どもの学びと育ち

不登校・いじめの早期発見・早期対応、様々な要因で困難を抱える若者などの課題にどう取り組むのかを問う。

#### 答弁 市長

不登校やいじめの早期発見、対応については、子どもたちの心の状態を把握できるアンケートの実施や、スクールソーシャルワーカーなどの大幅な増員を進めていく。困難を抱える若者に対しては、自立支援に向け、若者サポートステーションにLINE相談や仮想空間での相談等、若者がアクセスしやすい環境を整え、早期解決を図る。令和5年4月から子ども部をこども・若者部に変更し、

子ども・若者に関する施策の総合調整機能を強化して、支援を実施していく。

#### 質問 健康寿命を支えるしくみづくり

市民の新型コロナウイルスワクチン接種に対する認識も変化している。感染症の発生とまん延の防止に向けて、どう取り組むのかを問う。

#### 答弁 市長

感染症まん延の影響を最小限にとどめるための対策としてワクチン接種の有効性・必要性が改めて認識された。こうした状況を踏まえ、予防接種法に基づく麻疹・風疹などの定期予防接種は、引き続き着実に実施していく。任意予防接種については、感染症のまん延防止の観点のみならず、生涯を健やかに過ごすことのできる地域の実現の観点から、助成内容を見直し、令和5年度から新たに带状疱疹を加え、おたふくかぜについても助成回数を拡大する。

#### 質問 環境と共生する取組の推進

カーボンニュートラルの実現に向けて更なる取組の強化が必要とされるが、市の取組についてどう進めるかを問う。

#### 答弁 市長

令和5年1月に開始した節電、3R、食品ロス削減に取り組むとよた・ゼロカーボンアクションを市職員が率先して行動実践するとともに、公共施設の省エネ改修、再エネ設備導入に取り組むことで、市民の行動変容や市内事業所の脱炭素化に波及させたい。取組の一環として、温暖化の進展により、夏の暑さ対策が必要とされる小・中学校の体育館・武道場についてCO<sub>2</sub>排出を増加させないよう省エネ対策や再エネ設備導入を前提に、空調設備などの暑さ対策の検討に着手していく。

### 市民フォーラム 中村 孝浩



- 変わる社会・変えるミライへの挑戦
- 変わる社会・変えるミライに向けた人への投資
- 変わる社会・変えるミライへのまちづくり
- ポストコロナ社会を見据えた当初予算編成

#### 質問 世界ラリー選手権を生かしたまちづくり

世界ラリー選手権を通じ、本市の発展への取組や市全体の魅力的なまちづくりにどうつなげていくのかを問う。

#### 答弁 市長

ラリージャパン2023では、新たに都心部に多くの観客が観戦できる競技会場を設けると共に、山村部のスペシャルステージでも会場ごとの観客数を増やし、宿泊とセットになった観戦ツアーの販売を行い、昨年以上に地域の活性化につなげる。また、大会の効果を市全体に広げるため、小・中学生向けのラリー教室やオートテストなどのイベントを開催するなど、全市的な盛り上げを図り、山間地振興、交通安全推進、産業振興につなげていく。

#### 質問 カーボンニュートラルの推進

カーボンニュートラルの全体的な取組に加え、市民の意識の醸成など、どのように取り組んでいくのかを問う。

#### 答弁 市長

平成21年度に環境モデル都市に選定されて以降、本市の強みである産業・交通・森林分野を中心に全方位でCO<sub>2</sub>削減に取り組んでいる。令和5年度は、カーボンニュートラルの実現に向けた取組を更に進めるため、くらしや事業活動の脱炭素化の相談支援や省エネ設備等の導入支援を拡充するとともに、市民や事業者との連携を強化して取り組んでい

3月市議会定例会において、新年度に向けた「施政方針」に対し、それぞれの会派の代表者が2月20日に代表質問を行いました。

その質問と答弁の一部を要約してご紹介します。

く。特に、民生部門については、市民参加型のプロモーションやとよた・ゼロカーボンアクションの取組を展開していく。

**質問** 多様な資源を生かす  
まちの推進

ウォークアブルでにぎわう公共空間を目指した取組により魅力的な都心形成に向け、今後どう進めるかを問う。

**答 弁** 市 長

新博物館が新たな都心形成の一翼を担うものとして、令和6年4月の開館に向け整備を進めるとともに、豊田市駅東口駅前広場整備事業等を計画的に進め、ウォークアブルで人中心の公共空間を創出し、魅力的で持続可能な都心を形成する。中でも、第4期中心市街地活性化基本計画の主要事業における官民連携で行う豊田市駅周辺地区のエリアマネジメントの推進や、まちなかのにぎわいや回遊性向上の取組は欠かせず、関係団体との連携に努めていく。

**質問** ミライを見据えた次期  
総合計画策定への想い

令和6年度で第8次総合計画後期実践計画が終了するが、次期総合計画策定はどのような想いで取り組むのかを問う。

**答 弁** 市 長

長期を展望する中で、人口減少社会やカーボンニュートラルなど、社会が極めて大きく変化することが見込まれるため、見極めは難しいが変化をチャンスと捉え、豊田市から未来を変えていくという想いを強く持ち、未来に向けて挑戦することが大切だと考える。多様な地域性、価値観を持つ様々な市民が暮らす本市において、市民一人一人がまちの豊かさを楽しみ、豊田市に住んでよかったと実感できるまちを目指し、次期総合計画の策定に着手していく。

**公明党**  
田代 研



- 変えるミライへ挑戦
- 共生社会の構築を目指して
- 令和5年度当初予算編成

**質問** 新型コロナ対策

新型コロナウイルス感染症の拡大を抑える取組としてワクチン接種の呼び掛けが一層重要だが、接種の促進に向けた考えを問う。

**答 弁** 市 長

重症化リスクが高い高齢者については、ワクチンの3回目の接種率は9割を超える。特に、入居者の重症化リスクが高い高齢者施設では、全ての施設で接種が進んでいる。3月には、多くの方に接種いただける機会としてスカイホール豊田において集団接種を実施し、市民への情報発信と合わせて接種促進に努める。4月以降のワクチン接種の詳細については、現在、国で検討されており、接種を希望される方が安心して受けられるよう、医療機関と連携して接種体制を確保していく。

**質問** 脱炭素社会の実現に  
向けて

本市の公共施設においても、CO<sub>2</sub>削減に取り組む必要があるが、脱炭素化の取組についての考えを問う。

**答 弁** 市 長

公共施設の脱炭素化に向けて、照明のLED化や空調の更新などの省エネ化を図るとともに、再生可能エネルギーである太陽光発電を導入することで、CO<sub>2</sub>削減を図っていく。また、新たな設備の導入においても、省エネ対策を施したうえで、再生可能エネルギーを組み合わせ

ることで、CO<sub>2</sub>の排出を抑えていきたいと考えている。小・中学校の体育館・武道場についても、この考えのもと暑さ対策を検討していく。

**質問** 子ども・子育てを  
最優先する豊田市へ

不登校児童生徒数は増加傾向にあり、いじめの件数も増えていえると考えられる。これらの対策に向けた体制強化の取組について問う。

**答 弁** 市 長

いじめ・不登校対策の体制強化については、未然防止・早期発見・早期解決のために、スクールソーシャルワーカーや心の相談員を増員していく。また、いじめや不登校など困難を抱える児童生徒を含め、一人一人の児童生徒に対し、自分らしさを発揮し、社会的自立に向かえるよう、包括的な支援を行っていく。

**質問** 生命と財産を守る取組

災害から市民を守るため、流域治水やマイ・タイムラインの取組等、防災・減災の取組の考えを問う。

**答 弁** 市 長

水害から市民を守るためには、関係者と共働して進める流域治水の取組を着実に推進するとともに、鵜の首地区水位低下対策事業を積極的に支援することが重要と考える。また、市民自らの判断で迷わず、適切な避難行動をとれるよう、防災行動計画マイ・タイムラインの取組を継続して実施するとともに、令和4年度から登用した気象防災アドバイザーを有効活用し、迅速で正確な防災気象情報の収集や発信を行い、命を守る市民の避難行動につながる取組を促進する。

## 市政を問う!

2月21日から24日にかけて、14人の議員が市政の方針や考え方などについて問う「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

**都築繁雄**

自民クラブ



- 子どもたちが輝ける教育の実現
- 豊田市の将来のあるべき姿

### 質問 第8次総合計画後期実践計画の進捗状況

第8次総合計画の進捗状況や課題等を総合的に判断し、今後の計画の推進やまちづくりに対する市長の思いを問う。

### 答弁 市長

任期3期目は小・中学校等の休校が決定され、日本全国が大混乱に陥ったという印象の中でのスタートだった。この3年間で全く新しい課題が生じ、一つ目は子どもや高齢者の心身の健康、二つ目は産業界の疲弊ぶり、三つ目は地域社会の変容である。三つの新しい課題は今後拡大又は収束するのか、行政は何をするか、市民とどうするのが新たな課題となるだろう。残りの1年、市議会と市民の皆さんとともに精一杯頑張るといのが私の気持ちだ。



豊田市総合計画

**深谷とおる**

自民クラブ



- 第4次豊田市森づくり基本計画の推進

### 質問 持続可能な森づくりに向けて

持続可能な森づくりに向け、森林作業員の生業となる林業の持続性

や発展が必要と考えるが、本市の考えを問う。

### 答弁 産業部

これまで森林保全を中心に取り組んできたが、これを維持し持続可能な森づくりを実現するには、森林作業員等の生業となる林業振興が必要と考える。今後、林業振興と過密人工林解消による森林保全が両立する持続的な森林施策への転換に向け、林業事業体の雇用環境改善に加え、木材搬出を伴う利用間伐適地での木材生産や高性能林業機械の導入支援の推進、更なる林業振興に向け、森林保全上の安全を確保した小規模な皆伐の研究も進めていく。



高性能林業機械(タワーヤード)

**深津秀仁**

自民クラブ



- 先を見据えた商業活性化
- 農業を守る獣害対策

### 質問 獣害対策の今後

大学や企業等と連携し、全国のモデルになる先進的な駆除方法を確認し、対策を行うべきだが、現在の連携状況を問う。

### 答弁 産業部

近年の主な連携事例として、獣害対策器具の専門業者やIT関連企業

との実証実験やシカの習性を利用する国のプロジェクト研究への参加があるが、山間部の通信環境の悪さや野生獣の畏への強い警戒心から、成果には至っていない。次年度はクラウドICTを活用した県の捕獲アプリの実証実験に参加するなど、新技術の活用は効果的・効率的な駆除に不可欠と認識しており、引き続き、大学や企業等、関係機関との連携に努めていく。



田畑を荒らすイノシシ(イメージ)

**海老澤要造**

自民クラブ



- 子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI)
- 人口減少下における豊田市への転入促進策

### 質問 山村地域の定住促進に必要な宅地供給の仕組み

山村地域の居住促進地区の耕作放棄地等を計画的に宅地として提供するため、行政と宅地業界団体が新たな協定を結ぶことが有効と考えるが、本市の見解を問う。

### 答弁 地域振興部

山村地域における宅地供給については、円滑な移住・定住を実現するため、受け入れ先の地域住民の理解と協力が重要だと考えている。

現在、本市では地域住民との共働を前提に、土地利用規制や宅地需要に配慮した上で、愛知県宅地建物取引業協会豊田支部等の民間事業者と協力した宅地供給施策を実施しており、今後も、地域及び民間事業者と連携しながら、地域事情に沿った形で宅地供給を進めていく。

※質問順に掲載しています。 ※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム  
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無



市内山村地域

榎屋小百合

公明党



- 中高年のひきこもり対策
- 燃やすごみの削減に向けた取組

質問 中高年のひきこもりの現状

江戸川区では中高年のひきこもり実態調査から、適切な支援につなげているとのことだが、本市でも独自の実態調査の実施を提言するが、考えを問う。

答弁 福祉部

ひきこもりの状態や背景は様々で、全体的な傾向や数値ではなく、個別具体的な状況把握と、ケースに応じたきめ細かい支援が必要である。また、ひきこもりの方は、社会との接点が少なく、自ら声をあげることが難しいこともあり、本市では支援機関や民生委員等が日頃の地域の見守りの中で当事者や家族の実態を個別かつ詳細に把握し、関係機関につなげて対応していく。

宮本剛志

自民クラブ



- 豊田市観光の未来

質問 戦略的な観光プロモーション

本市の観光振興に向けて、戦略的な観光プロモーションにより積極的な施策展開が必要と提言するが、本市の考えを問う。

答弁 産業部

現在の顧客ニーズにこたえ、着実に観光消費へとつなげていくためのポイントは3点ある。1点目は、多様化するニーズに向け、観光資源の魅力を高め商品化すること。2点目は、顧客情報を収集・分析し、ターゲットに適切な情報を提供すること。3点目は、安全・安心で上質なサービスを提供できる環境を整えること。これらを踏まえ、デジタルやメディアを効果的に活用しながら、引き続き戦略的なプロモーションを展開していく。



豊田おいでんまつり

浅井保孝

自民クラブ



- 幹線道路整備とそれに伴う通学路の安全対策
- 地域要望に対応する職員体制
- 子育てにやさしいまちづくりのさらなる推進

質問 幹線道路の整備状況と開通効果

豊田南バイパスの計画が進む一方で、豊田西部線についても令和8年度末の開通に向けて事業進捗を図ると伺っているが、現在の進捗状況と今後の予定について問う。

答弁 建設部

豊田西部線の進捗状況としては、令和3年度より道路設計及び用地測量に着手し、現在、関係地権者との用地交渉を進めている。令和5年度からは、引き続き用地取得を進めるとともに、樹木伐採などの準備工事に着手する予定であり、豊田南バイパ

スの供用時期をにらみながら事業推進を図っていく。



豊田南バイパス工事現場

山本義勝

市民フォーラム



- 災害に強い行政機能に向けて
- 企業変革に対応する製造業への取組

質問 確実な非常時優先業務に向けた取組

洪水ハザードマップでは、市役所本庁舎の浸水が10m以上になるとされている。本庁機能の確保をどうするのか考えを問う。

答弁 地域振興部

想定し得る最大規模の降雨を前提とした本庁舎の浸水の深さは13mを超えるため、災害対策本部機能維持検討部会において、移転に関する検討を進めている。全ての対策部の移転先の希望調査などを行い、令和4年度は具体的な移転先を確保した。今後は、市民文化会館等の移転先を踏まえ、移転のタイミングや資機材の確認、運搬方法等、各対策部において円滑に本部機能の確保ができるよう、引き続き検討部会において協議を進めていく。



市民文化会館

## 市政を問う!

議員氏名  
会派名



QRコードから、各議員の一般質問の動画を見ることができます。

倉山和之

市民フォーラム



- みんなで命を救えるまち
- SDGs未来都市の実現に向けた取組

### 質問 AED普及による救命活動の取組

自治区等に対するAED設置箇所のとよたiマップへの登録についての周知拡大の考えや、現在AEDの設置箇所はとよたiマップとまちかど救急ステーションの二つに掲載されているが、分かりづらいため、情報の一元化に向けた考えを問う。

答弁

保健部・消防本部

登録の周知拡大に向け、市ホームページでの周知のほか、関係部局と連携し、自治区に対し新規設置した際の情報提供の依頼等を取り組んでいく。また、まちかど救急ステーションが応急手当のできる安全・安心な施設として周知ができるよう、とよたiマップへの掲載について関係部局と調整していく。



AED(市役所南庁舎)

山口光岳

自民クラブ



- 学校教育の今とこれから

### 質問 地域と共に育ち合う教育の推進

子どもたちを取り巻く環境が変貌する中、学校教育の重要度が高まっている。これからの学校教育について、教育長の考えを問う。

答弁

教育長

予測困難な未来を迎えようとしていく中、子どもたちには自ら考え、主体的に行動し、新たな価値を創造する力や責任ある行動をとる力、多様性を尊重する態度等が必要である。これらの力を身につける教育内容をどのように学ぶかを明確にしていく。

また、学校が抱える課題を解決するため、学校と地域がパートナーとなり、社会総がかりでの教育の実現を目指す。各学校が教育内容を充実させ特色ある学校づくりを進めるため、教育委員会としての主体性と創造性を積極的に発揮していく。



タブレットを使った授業

石川嘉仁

自民クラブ



- 郷土愛を育む活動の大切さ
- 組織再編による新たな市政運営

### 質問 郷土の先人から学ぶ大切さ

顕彰会活動等の更なる魅力向上につなげていくため、市民主体の活動団体の交流の場が必要と考えられるが、本市の見解を問う。

答弁

生涯活躍部

令和5年10月に、新修豊田市史の完成を記念したイベントを市民と共に開催することを計画しており、市史編さん事業の成果を紹介する講演会や、市民や団体が郷土の歴史や先人の魅力を紹介する交流会などを行う。この交流会をきっかけに、活動

がさらに充実していくことを期待している。

新博物館が市民の交流の場となり、みんなでつくりつづける博物館を実現することで、まちへの愛着が生まれ、深まっていくことを目指す。



新修豊田市史

寺田康生

自民クラブ



- 持続可能な豊田市の農業施策

### 質問 農業の環境負荷低減に向けた取組

生産者や消費者ともに有機農業・農産物への意識や興味が高まっている中、農業の環境負荷低減に向けた本市の考えを問う。

答弁

産業部

令和4年7月に施行されたみどりの食料システム法に基づく国の基本方針を踏まえ、環境負荷の低減への取組は今後、一層の推進が見込まれる。

市内では、すでに有機JASを取得したお茶や、農薬の成分や化学肥料由来の窒素成分を抑えた特別栽培米の栽培等が行われている。そのため、本市も、環境との調和に配慮し農業の持続性を確保する農業者の取組を積極的に支援し、地域特性に応じた持続可能な農業を推進していく。

○一般質問の大きなテーマ(大項目)  
●以下の質問に関連している項目

質問 一般質問の小さいテーマ(中項目)  
実際に質問した内容(小項目)

答弁 回答した部局長  
質問に対する市の担当部局の回答



市内での茶摘み風景

### 塩谷雅樹

市民フォーラム



- カーボンニュートラル時代を見据えた取組
- 矢作川流域の取組

#### 質問 鵜の首地区開削の取組

鵜の首地区開削事業は重要な治水対策であり、河川管理者である国への市の支援は重要と考える。今後の進め方について問う。

#### 答弁 副市長

本市の治水行政の最優先事業と位置づけ、これまで国に対し事業が円滑に進むよう支援を行ってきた。特に狭窄部開削に伴い発生する掘削残土については、参考館約3棟分に匹敵する膨大な量(65万立方メートル)となる予定から、工事現場により近く、大量に受け入れ可能な場所を選定することは、費用削減と工事期間の短縮を可能にするため、引き続き、場所の選定支援を実施する。今後も、関係機関と緊密な連携をはかり、事業のより一層の促進を図る。



矢作川鵜の首狭窄部

### 根本美春

諸派



- 地域医療と交通空白地域への対策
- 子どもの命と安全を守る保育士の配置に

#### 質問 本市の保育士配置基準

保育の質の向上のため、保育士の配置基準の更なる改善が必要と考えるが、今後の本市の考えを問う。

#### 答弁 子ども部

現行の本市独自の配置基準は、平成20年度から運用しているが、発達障がいなど配慮が必要な園児の増加など、当時と比べ保育を取り巻く環境は大きく変化している。また、全国における保育施設での事故や不適切保育などを背景に、国は配置基準の見直しを検討している。これらのことから、国の動向を注視しつつ、保育の質の更なる向上に向けて、子どもの安全や育ちを支えるといった観点から保育士の配置基準の見直しの必要性について検討していく。



こども園の様子

議会の傍聴や見学もできます  
お気軽にお問合せください。



## 請願・陳情の提出 期限が変わります

これまでは開会日の午前10時までが提出期限でしたが、今後は各定例会前の議会運営委員会開催2日前の午後5時までに提出いただいたものは、その定例会中に審査することに変更します。

なお、令和5年6月豊田市議会定例会で審査される請願・陳情の提出期限については、**令和5年5月31日(水)午後5時**となります。

上記日程以降に提出された場合は、翌定例会にて審査を行います。

お間違えないよう、お手続き  
お願いいたします。



## 市議会に お越してください

### ●議会の傍聴

本会議や委員会の様子は、どなたでも傍聴していただけます。当日、傍聴受付で住所・氏名を記入し、傍聴券が交付された後、会場へ出入りできます。車いすでの傍聴や盲導犬・介助犬を伴った傍聴も可能です。また、手話通訳者をご希望の方は、5日前までに議会局まで書面でお申し込みください。

### ●議場の見学

本会議を開催していない日は、議場を見学することができます(土・日・祝日を除く)。職員がご案内しますので、見学をご希望の際は、事前に議会局までご連絡ください。

### ●お問い合わせは豊田市議会局まで

#### 傍聴受付

※会議が始まる30分前から受付  
本会議→市役所南庁舎8階  
委員会→7階委員会室前

※期間や日程は市議会だより、市議会ホームページなどをご参照ください。

## 3年ぶりに市民シンポジウムを開催



講師の村上文洋氏

令和5年1月14日(土)午後2時から、豊田市民文化会館において、株式会社三菱総合研究所 主席研究員の村上 文洋氏をお招きし、「データ活用で変わる社会 ~豊田市のDXとわたしたちの暮らし~」をテーマに市民シンポジウムを開催しました。

第一部では基調講演、第二部ではパネリスト4名をお招きし、「市民一人ひとりに合ったサービスのために」と題してパネルディスカッションを行いました。当日は170名を超える方々に

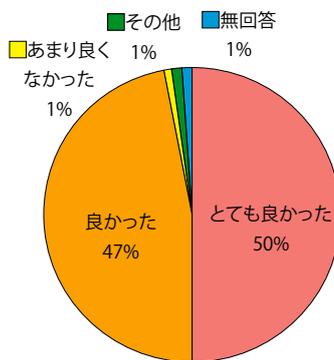
御参加いただきました。アンケートでは、「とても良かった」又は「よかった」という回答を8割以上の方からいただき、大変好評でした。また、参加者の方から少子化問題から行政改革に関する様々なご意見をいただき、市民の皆様とともにDXについて考える機会とすることができました。



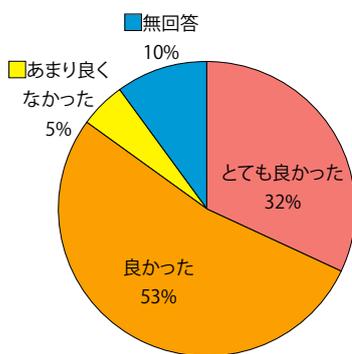
市民シンポジウムの様子

### アンケート結果

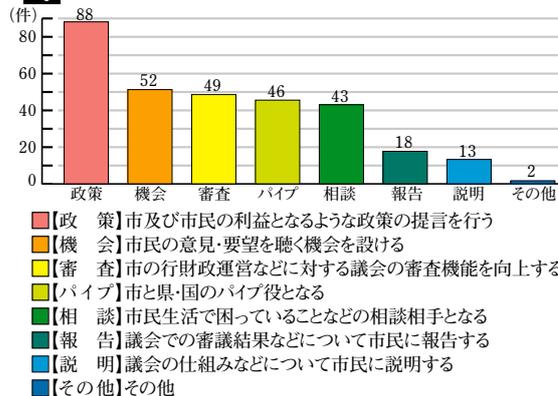
Q 基調講演の内容はいかがでしたか?



Q パネルディスカッションの内容はいかがでしたか?



Q 市議会や議員へ期待すること



## 市議会の予定 6月市議会定例会は6月9日(金)開会予定です

■請願・陳情の提出期限/6月定例会で審査を希望される場合は、5月31日(水)午後5時までにご提出ください。

### ★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会 ホームページで

インターネット録画放送 <http://toyota-shigikai.jp/>

豊田市議会 検索 「動画で見る」代表・一般質問をクリック!



「市議会だより」のバックナンバーや会議録もご覧いただけます。

<http://toyota-shigikai.jp/movie.html>

一般質問の様子をスマートフォン等から閲覧できるようになりました。

※/パケット通信が必要になりますので、携帯端末等での視聴はWi-Fi環境をおすすめいたします。



### ご意見・ご感想

「市議会だより」についてのご意見・ご感想、また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

**豊田市議会局**

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール [gikai@city.toyota.aichi.jp](mailto:gikai@city.toyota.aichi.jp)



豊田市議会は、古紙配合率70%の再生紙と植物油インキを採用しています。

※この冊子は、折込み「3月市議会定例会号」です。